

I 学校教育目標

志高く頼もしい南中学校の生徒

一 ゆたかな人間性 二 たくましい心身 三 考え、学び合う力

(1) 学校教育目標について

本校生徒が志を立て、自校に誇りと愛校心をもち、社会を支える人間として頼もしく成長することを願い、知徳体のバランスのとれた教育活動を展開するものである。

◆ **志高く** …将来を見据え、成し遂げたいと思うことを抱き、育てながら、そのことを達成するために努力することである。

◆ **頼もしい**…我が国を形成し、支えていく人間として、周囲から心強く思われ、頼りにされ、将来が楽しみな人間に成長してほしいという願いが込められている。

一 ゆたかな人間性

思いやりの心や感動する心、生命を大切にする心、自らを律し、向上心をもって取り組む姿勢等、人間として生きるために必要な心や感性、態度を身に付けることである。

二 たくましい心身

運動ができることだけでなく、健康な体や辛く苦しいことがあっても逃げずに耐え、乗り越えていく強い精神力を身に付けることである。

三 考え、学び合う力

知識・技能の教え合いに留まらず、考える力を育て、他者とともに学ぶ力を身に付けることである。特に、生徒が互いに見習うべき存在として切磋琢磨する姿勢を育てる。

(2) 南中学校のキャッチフレーズ

じりつ = 自立・自律

自立・・・親などの他の人や物に頼ることなく独り立ちしていること。(1学年～2学年)

自律・・・自分で考え、自身をコントロールできること。(2学年～3学年)

2 目指す学校像、教師像、生徒像等

(1) キーワード

共鳴

- ・ 昨年度のキーワード【浸透】では、当たり前のことをしっかりとやり抜くことを貫いた。今年度は、根付いたものを発信、伝えあう、そして、受け取る力を培っていきたい

(2) 目指す学校像

- ①生徒が「主役」。一人ひとりを大切にする学校
- ②教職員が「笑顔」ではたらくことのできる学校
- ③保護者・地域から信頼され、愛される学校

(3) 目指す教師像

- ①自らの人間性を磨き、信頼される教師
- ②探究心を持ち、授業改善し続ける教師
- ③一人一人の生徒の気持ちを理解し、生徒と共に歩む教師
- ④ SOSを見逃さず、スピード感をもって適切な判断力で対応できる教師(危機管理)

(4) 目指す生徒像

- ①自主的・主体的に学習に取り組む生徒
- ②目標をもち、チャレンジする生徒
- ③自分も他者も大切にできる生徒
- ④社会の変化に対応できるたくましさをもつ生徒

3 学校経営方針（5領域）

（1）生徒が自主的・主体的に学習に取り組める教育課程の工夫改善

（年間指導計画、各教科等、指導と評価）

- ・見通しと振り返りのある授業づくりをとおして、生徒が「わかった・できた」を実感できる授業展開の工夫を行う。
- ・ICTを積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びができる工夫改善を行う。

（2）基本的な生活習慣の確立と社会の一員として責任ある行動がとれる生徒の育成

（「じりつ＝自立・自律」、無言清掃、人権教育（いじめ撲滅を含む）、ダイバーシティ教育）

- ・時、場に応じて、自分で考え行動できる生徒を育成する。
- ・時間を守り、無言清掃に真剣に取り組む生徒を育成する。
- ・教師、生徒自ら人権、多様性について考え、広域的確な判断をもつ力を醸成する。

（3）たゆまぬ研鑽に努め、教職員の力を結集した指導体制の確立

（見通しと振り返りのある授業づくり ICT 端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進、人権教育、生徒指導、教育相談）

- ・職員自ら自己研鑽に励み、教師としての資質向上と指導力向上に努める。
- ・組織的、計画的に生徒指導、教育相談に取り組み、情報共有、共通行動を実現させる。
- ・「チーム南中」の一員として互いを認め、尊重し合い、課題解決に向けて結集できる教職員集団の確立で学校力を高める。

（4）安心・安全な学校づくりの推進

（ユニバーサルデザイン、ヘルメットの着用、防災頭巾100%常備）

- ・ユニバーサルデザインを意識し、学習環境をつくる。
- ・校内外の整理整頓・環境保全・施設設備の点検を充実させ、安心・安全な学校をつくる。
- ・ヘルメット着用義務化と防災頭巾100%常備を実現し、生徒の生命を守る。

(5) 保護者、地域に開かれた学校づくり

(防災教育・進路指導・キャリア教育、Web サイト更新)

- ・地域の学校として、地域とともに育ち、信頼と協力を仰げる教育の展開をする。
- ・高等学校や大学との連携による進路指導・キャリア教育を推進する。
- ・Web サイト更新を計画的に行い、確かな信頼関係を構築する。

4 本年度の教育指導の重点目標と努力点

(1) 学習指導「自主的・主体的に学習に取り組む生徒の育成」

- ・見通しと振り返りのある授業づくり（生徒の学習意欲を引き出す授業展開の工夫）
- ・ICT 端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進

(2) 生徒指導「授業規律、適切な状況判断、自分をコントロール（自律）できる生徒の育成」

- ・生徒指導委員会を核とした校内生徒指導体制の確立
- ・いじめ・問題行動等へのスピード感ある組織的対応の実践
- ・家庭、地域、関係機関との連携・協力

(3) 進路指導・キャリア教育「志を立て、自らの生き方を考える指導の推進」

- ・地域の教育資源を有効活用した小・中・高・高等技術専門校・大学との連携
- ・3年間を見通した系統的・組織的な進路指導・キャリア教育の推進

(4) 道徳教育

じりつ（自立・自律）できる生徒の育成

① 自分も他者も大切にできる生徒 ② 理想と夢を持ち続ける生徒 ③ 常に心を磨く生徒

- ・道徳的価値の自覚を深め、適切な道徳的行為の実践につなげる指導と生徒の育成
- ・学校教育活動全体をととした道徳教育の展開（各教科等、学校行事）

(5) 総合的な学習の時間

「探究的な見方や考え方を働かせ、課題解決能力を高める指導の充実」

- ・SDGs等の特色ある教育活動を生かした年間指導計画の作成と実践
- ・体験的な活動を通して課題解決能力を高め、思考力・判断力・表現力等の育成
- ・国際理解教育、ボランティアとの関連

(6) 特別活動「生徒が主体的に活動する特別活動の推進」

- ・生徒会活動の充実強化
- ・学級活動における話し合い活動の意図的・積極的な実施
- ・学校の創意工夫（健康・安全・人権教育等）を生かした効果的な年間計画と行事の実践

(7) 教育相談「生徒一人一人の望ましい成長と自己実現への支援の充実」

- ・日常の教育活動全般をとおした教育相談体制の確立と相互の連携の充実
(ミニケース会議、特別支援教育委員会との連携)
- ・さわやか相談員（室）やSC、関係機関との連携による支援体制の充実
- ・ステップアップルームの活用

(8) 体育・健康教育「生涯にわたって自己の健康と体力の保持増進に努める生徒の育成」

- ・運動の特性を味わわせる授業展開の工夫・実践及び体力の向上
- ・学校保健委員会の機能を活用した健康教育の充実と効果的な実践の推進

(9) 人権教育「人権尊重を教育活動の基本とした教育活動の推進」

- ・他者の痛みが分かり、自他を大切にする生徒の育成
- ・指導内容や指導法の工夫改善による人権感覚の育成と今日的な課題への対応

(10) 特別支援教育「社会的自立に向け、個々の生徒に応じた指導・支援の工夫改善」

- ・通常学級における支援が必要な生徒の把握や情報収集と適切な支援（個別の支援計画、A・Bプランの作成）
- ・教育相談部会との連携
- ・保護者や関係機関との連携による指導計画の作成と支援体制の確立

(11) 情報教育「情報活用能力（情報モラルを含む）の育成」

- ・情報通信ネットワークの主体的・効果的な活用を図る学習活動の充実
- ・情報の安全利用を踏まえた情報モラル育成のため関係機関や資料の活用

(12) 環境教育「環境問題に関心をもち、自ら解決しようとする態度の育成」

- ・無言清掃活動の徹底
- ・ユニバーサルデザインを意識した校内環境の整備と掲示教育の充実

(13) 国際理解教育「グローバル社会に向け、積極的に異文化理解を行う態度の育成」

- ・国際社会の一員として、自分たちにできる国際協力・国際貢献に対する意識の醸成
(総合的な学習の時間（SDG's）との関連)

(14) ボランティア・福祉教育「自助・共助・公助を理解し、実践できる態度の育成」

- ・ボランティア活動の積極的な推進と新たな活動の場の設定・提供
- ・SDGsの視点を生かした地域や関係機関との連携による社会奉仕等の意識の高揚

(15) 学校図書館教育「学校図書館の資料センターとしての活用と読書活動の充実」

- ・学校図書館の学習・情報センターとしての機能の充実
- ・魅力ある学校図書館づくりと読書活動の充実

(16) 食に関する指導（食育）「食習慣やマナー、感謝の心と自己管理能力の育成」

- ・健康教育との関連を図りながら、食に対する正しい知識と意識の高揚
- ・給食のマナーや正しい食生活を実践する態度の育成

5 学校課題研究等の推進（令和7・8年度上尾市委嘱研究発表）

【研究主題】 未定

南中学校区小中一貫教育の土台づくり

- ・令和4・5年度に研究をした特別支援教育の継続と小中9年間を見通した教育目標の設定

6 働き方改革（教職員の心身の健康と笑顔があつての学校改革）

月平均勤務時間外在校時間4.5時間以内に向けた一人ひとりの意識改革と取り組み

（スクールサポートスタッフ、ICT支援員の効果的な活用）

日課表の見直しと授業時数の検討（事務作業時間、授業準備時間の確保）

提出物関係は、勤務時間内厳守

2か月先を見た運営委員会、職員会議の提案

行事検討委員会等を通して、さらなる行事の精選

ふれあいデー（17：15完全退勤）実施と平日19：30完全退勤